

平成27年度 事務事業評価(議会)
(平成26年度決算)

分科会評価結果

分科会名	文教分科会					整理番号	文教-1	
事務事業名	不登校対策事業							
評価区分 (事務事業の方向性)	①	拡充	2	継続	3	終期設定し終了	4	休止・廃止
<p>〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉</p> <p>本事業は、不登校を初め、いじめ、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題への対応が求められる中、行政や関係機関と連携した相談活動など包括的な支援を行うため、スクールソーシャルワーカーを各学校に派遣し、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけるとともに、学校における教育相談体制の整備、充実を目的としている。</p> <p>生徒指導上の課題が多様化する中、スクールソーシャルワーカーと教職員が連携して、福祉的な支援が必要な児童生徒及び保護者等へアプローチすることで、不登校の背景となっている児童生徒の抱える課題の改善を図ることができ、相談対応件数の8割が解決または好転するなど高い成果を得ている。</p> <p>次代を担う児童生徒の生活環境を守り、学校教育の充実を図るためにも、スクールソーシャルワーカーを全中学校に配置し、校区内の小学校にも派遣できる体制構築のため、増員が必要であると考えことから、拡充とした。</p>								